

切削

材にあわせて数十種類の刃を付け替え板を切削する。

ライトをあてて1枚ずつ肌荒れがないかチェック

切削音のおおきな変化から、厚みムラなどを見分けちゃう。

スライド式や回転式等がある

刃の角度、刃こぼれなどを常に確認します。

何十年もこの持場機械とは子供も長いつきあい

その光沢は木の細胞一つひとつから放たれたものです。



自然が作り上げた唯一無二のデザイン「木目」を身近にしてくれるツキ板技術

状態を確認しながら乾燥時間や温度を微調整する

乾燥

貼付

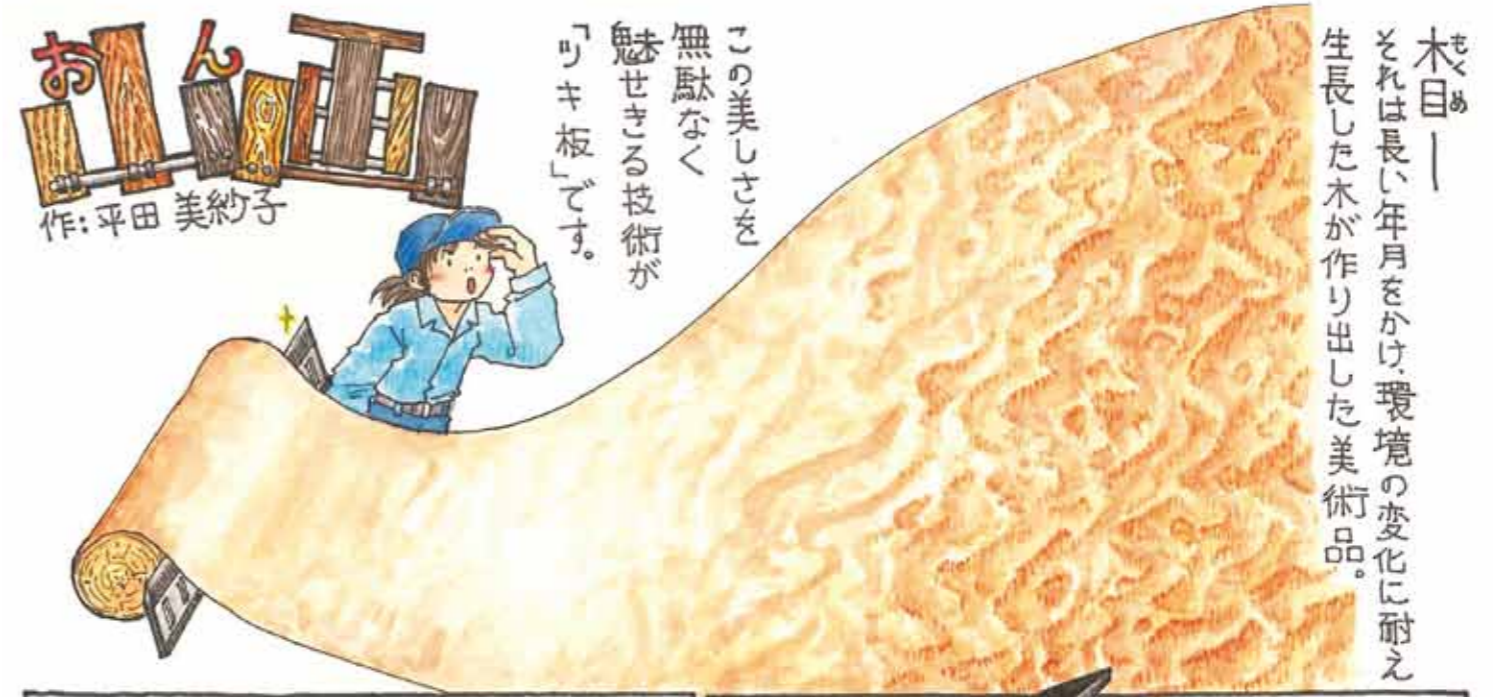


接着剤のわずかな水分でツキ板は伸縮隙間を作らないのは熟練の技

検品&補修



髪の毛の隙間も見逃さず木を貼って補修する



おん正

作:平田美紗子

この美しさを無駄なく魅せきる技術が「ツキ板」です。

木目—それは長い年月をかけ、環境の変化に耐え生長した木が作り出した美術品。



もし1m³の材を官製ハガキにすると...

337.837枚分のハガキに!
1日10枚書いて約90年以上

現在の技術では、0.13mmの厚さまで削ぐことができます。



鉋で突いて削り出した板「ツキ板」

古くは古代エジプト時代に小物や家具に使用日本では奈良時代に発達



美しい。正倉院のつくがしたんすごろきよく木画紫槽双六局



玉切りして長さを決め

製材

原木からフリック(ブロック)を切り出す

美しい木目が出せるよう木取りを行う

その後、フリックは煮沸してやわらかくする

失敗すると値段が半分になることもある為熟練した技術が必要



選木

世界・国内各地を飛び回り原木を探す樹種や産地の特徴、外見のみで美しい木目の原木を見極める

「ツキ板」とは、木目の美しい材を限界まで薄く削いだもの。

ツキ板の製造を支えるのは、いくつもの職人技。